

令和3年度 環境で地方を元気にする 地域循環共生圏づくりプラットフォーム事業 キックオフミーティング 発表資料

活動団体の本事業への関わり

今年度より“環境整備“に取り組む	✓
昨年度から引き続き“環境整備“に取り組む	
昨年度までの“環境整備“を経て、今年度より事業化に取り組む	
昨年度までの“環境整備“と“支援チーム派遣(事業化支援)”を受けて引き続き事業化に取り組む	

活動団体名：田主丸・未来創造会議

活動地域：福岡県久留米市 田主丸町

活動におけるテーマ・キャッチコピー

人々の心と暮らしを支える水縄連山SDGs

活動団体紹介

- 「水縄連山」を常に目にして暮らす田主丸町。
田主丸は北に筑後川が流れ、南に水縄連山(耳納連山)が連なる景観に富んだ田園地帯。
- その山をシンボルとする地域循環共生圏「水縄連山SDGs」の実現を目指します。
農業が盛ん。米麦・畜産はもとより、巨峰や柿の果樹、野菜、柑橘系果樹の苗木、緑化木植木や花き園芸など、多彩な農産物。

田主丸地域のイメージ

● 水縄連山(耳納連山)



● 果樹苗木畑



● 森林空間



● 神事伝統行事



ありたい地域の未来を実現するために何をするか

ありたい地域の未来

水縄連山と筑後川が織りなす「環境」と農業中心の「産業」に愛着を感じ、住み続けたいくなる「暮らし」。

課題（地域の課題、ありたい未来を達成するための障害など）

- ・ 柑橘系果樹苗木生産地だが、伐採カラタチの処分に苦慮。
- ・ かつぱの森Jークレジットなど環境保全の取り組みも、地域は未だ認知不足。
- ・ 神事や伝統行事が数多く残るも、高齢化と若者転出で存続の危機。

資源（活用できる地域資源、必要な資源、地域外の資源など）

- ・ 柑橘系果樹苗木生産は全国の8割、全国の柑橘農業の縁の下の力持ち。
- ・ かつぱの森Jークレジットは、10年間で保有量の5割は既に販売済。
- ・ 40以上もある社寺での神事伝統行事や、全国的にも珍しい虫追い祭など。

取組（ありたい未来達成に必要な取組、現在想定している事業のタネ）

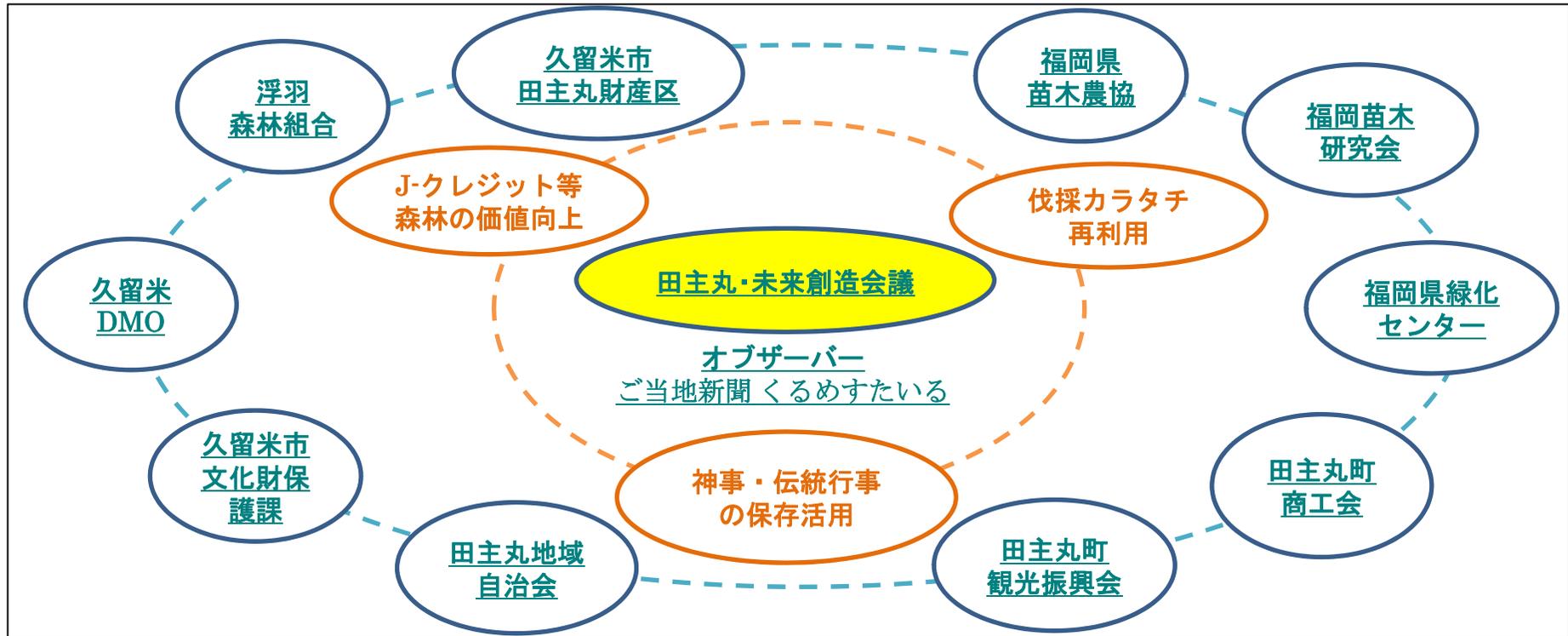
- ・ 伐採カラタチの有効利用（獣害対策、チップ化、芳香成分等）
- ・ Jークレジットの普及啓発事業（森林浴ツアーやクラウドファンディング）
- ・ 環境視点での神事伝統行事シンポ、草刈り等準備～直会の神事体験ツアー

成果（取組によって出したい成果）

若者世代が田主丸ローカルSDGsを身近なものとして認知しており、その活動に参加することに誇りを持っている。かつ、その事業が若者世代の地元就職の受け皿となると同時に、地域特有の魅力を訴求して関係人口を増大させる。

目指す“地域プラットフォーム”のイメージ

現時点での体制



環境整備を通して構築する“地域プラットフォーム”のイメージ

- 伐採カラタチ再利用は、大学や企業の研究機関や、機器メーカーとの連携。
- 森林の価値向上は、教育機関や、森林活用先行事例団体との連携。
- 神事伝統行事の保存活用は、教育機関や、環境と文化をつなぐ専門家との連携
- 全般的なビジネス化のために、金融、観光、製造等の各業界企業との連携

年間スケジュール（参考資料）

